



5・6年生の児童たち

1月17日に、ふるさと美浜元気フォーラムがなびあすで開催されました。

同フォーラムでは、町内3小学校の3年生から6年生約240人が、ふるさと美浜の良さや課題等について、調査活動に取り組んできた「ふるさと美浜元気プロジェクト」の発表が行われました。

当日は午前と午後の2部に分けて開催され、午前の部では3・4年生が発表を行い、3年生は「美浜のお宝」と題して、校区内で実地調査した名所や名物をステージ上で発表しました。4年生は、「みんなの幸せ」をテーマに福祉学習を通して学んだことを3校合同でステージ上で発表後、各グループに分かれ、手話等を交えた実践発表を行いました。

午後の部では5・6年生が発表し、5年生は、「地域の課題解決」をテーマに地域のために活動する人たちの活動内容を取材・調査し、ステージ上で紹介しました。6年生は、「美浜の未来創造」をテーマに3校混合でグループを作り、グループ事に考えた観光や農業等の活性化プランを観覧者に提案しました。

観覧には、同プロジェクトでお世話になった地域の方々や、過去に同フォーラムで発表した美浜中学校・美方高校の生徒等も参加し、発表に対して意見交換が行われる等、さまざまな世代との交流が図られました。また、発表の前には、元気プロジェクトに関わってきた関係者や、卒業生からのビデオメッセージが上映され、児童たちは自信を持って発表を行っていました。

わたしの夢、語ります

萱森 蓮^{れん}さん 美浜中央小学校 6年(安江)

みんなに美味しいお米を食べてほしい

僕の夢は、農家になることです。なぜ農家になりたいかというと、父さんの田んぼの手伝いをしていて、農業の楽しさを知り、美味しいお米を作りたいと思ったからです。そして、たくさんの人に食べてもらい、笑顔になったり喜んだりしてほしいです。

僕は、休みの日に田んぼに行って、買ってもらった草刈り機で草刈りをしたり、田植えや稲刈り等を手伝ったりしています。稲の成長を見たり管理することが楽しいです。

農家になるために、これから農業の勉強をしたいし、今まで以上に田んぼの手伝い等をしていきたいです。そして、農家になったらいろんな種類のお米作りや、今の農業より早くて簡単にできる新しい農業の研究に挑戦したいです。



CONTENTS 目次 広報みはま2025年3月号

2 わたしの夢、語ります／表紙の写真／目次

3 ふるさと美浜元気フォーラム

6 台湾新北市石門区ホームステイ

8 まちウォッチング
日向水中綱引き／みはまこども俵太鼓20周年記念コンサート 他

10 町のニュース
第47回全国育樹祭福井県緑化等功労者知事感謝状贈呈報告 他

11 美浜発電所の状況について

12 情報BOX
軽自動車税(種別割)の申告について／はあとびあまつりを開催します 他

17 ふるさと昔よもやま話154／文芸欄

18 すこやか放送局

20 ハートフル広場
はじめてバスデー／町人さん／慶弔／人口の動き／広報クイズ

22 くらしのカレンダー

- 表紙の写真 -



日向水中綱引きの様子です。当日はとても天気良く、海底まで透き通って見えるほど波も穏やかでした。

今年の男衆には美浜西小学校6年生の渡邊陽翔君も参加しました。綱を切るために力の限り「よいしょ！よいしょ！」と引く男衆の姿には、迫力がありました。(関連第8頁)

◇5年生【美浜元気プロジェクト 実践報告】

美浜東小学校
美浜町を元気に盛り上げよう！
太田そばプロジェクト



太田そばをたくさんの人に知ってもらうため、自分たちで取材やそばの収穫やそば打ち体験したこと等を報告しました。

美浜中央小学校
新庄かがやき大作戦！



新庄にあるさまざまな魅力を知ってもらうために、施設の方々に取材をし、イベントで行ったPR活動について報告しました。

美浜西小学校
美浜の伝統野菜
「くぼ丸ナス」をPRしよう！



くぼ丸ナスを自分たちで栽培して感じたことや公民館祭り等のイベントでのPR活動やアンケート調査等行った結果を報告しました。

◇6年生【ふるさと美浜元気プラン グループセッション】

6年生は、3校混合で編成した17のグループに分かれ、グループセッションを行いました。それぞれが持ち寄った課題とそれらの解決策を掛け合わせ、課題解決と町の活性化につなげるストーリーを考え、発表しました。

校区の垣根を越え、同じ美浜町に住む他校の仲間との対話を通して、未来を創造するアイデアを提案し、観覧者とともに磨き上げました。

課 題	グループの提案タイトル
農業の高齢化×観光地×はまびより	観光地をにぎやかに！農業もさかんに！美浜のみりよくをしましょう！
海ごみ×発電×レイクセンター	観光客で美浜町がにぎわうように！
はまびより×農業の高齢化×なびあす	はまびよりやなびあす、観光地がにぎわい美浜の田んぼの現状を知ってもらえるような町へ！
人口減少×海ごみ×にぎわいロード	明るく、人口が多い、きれいな町へ
子どもたちの交流の場×にぎわいロード×人口減少	交流いっぱい にぎわう町になるように！
獣害×観光地×空き家	獣害や空き家をなくし 明るく にぎやかな美浜町へ
にぎわいロード×少子高齢化×中学部活動指導	先生いっぱい！町人いっぱい！にぎわいロードが夢の国！
はまびより×獣害×海ごみ	みんなが楽しく、住みやすい美浜町に！
小さい子を預けられる場所×人口減少×海ごみ	スーパーに託児所で美浜の魅力 広げるぞ！
イベントの参加者減少×海ごみ×子どもの未来	地域の魅力再発見！子どもも楽しく海ごみゼロの美浜！
レイクセンター×空き家×なびあす	遊覧船に乗るとポイントゲット！景品獲得で仲が深まる美浜町！
空き家×海ごみ×人口減少	みんな楽しく課題解決ツアーできれいでにぎやかな美浜町に！
病院がない×はまびより×レイクセンター	安心できる、楽しい町へ！
にぎわいゾーン×観光地×海ごみ	行き先はガチャガチャ！美浜の観光地を巡れ！ガチャガチャ観光地ツアー
人口減少×空き家×レイクセンター	美しい町美浜！移住体験ツアーで美浜をにぎあう町に！
小さい子を預けられる場所×レインボーライン×空き家×はまびより	空き家とレインボーラインまでトウクトウク移動はまびよりに公園設置！
空き家×子育て支援×海ごみ	空き家で子育て支援充実海ごみ減少に！



◇ 3年生【テーマ:美浜のお宝】

美浜東小学校
美浜東チャレンジ隊
～みんなで見つけた地域のお宝～



地域の方々にお世話になり、へしこや太田そば、ピザ等のおいしい食べ物等について施設を訪れて聞いたことや見学したことを発表しました。

美浜中央小学校
美浜町のたから
～ほくたち・わたしたちがしまんしたいもの～



地域の自慢したい食べ物や場所を調べました。ミディマトやジビエ、歴史文化館等、実際に体験したことや見学したことを発表しました。

美浜西小学校
もっとお宝広め隊
～みんなで発見！お宝いっぱい～



レインボーラインや久々子湖のしじみ、日向の寒ブリ等の地域のお宝、スポットについて体験したことや調べたことを基に発表しました。

◇ 4年生【テーマ:みんなのしあわせ】

美浜西小学校
「目に障がいのある
美智子さんとの交流」



美智子さんの普段の生活等について話を聞き、障がいについて学び正しい関わり方が必要だと実感したことを発表しました。

美浜中央小学校
「お年寄りとの交流」
「インスタントシニア体験」



高齢者の方々と交流したり、高齢者の方の手や足等の感覚を体験し、感覚の不自由さを理解し手助けしあげる大切さを発表しました。

美浜東小学校
「妊婦さんとの交流」



大変なことや不安なこともあるがそれ以上に幸せなことが大きいことを妊婦さんの話から学び、実感したことを発表しました。

学校	班	実 践 発 表
西	1	身の回りにかくされたみんなのための工夫
	2	車いすの方と関わる時に大切なこと
	3	みんなが幸せになるための工夫を考えた公民館祭り
	4	妊婦さんの大変さ
中 央	5	なんでもお世話係
	6	にこにこカフェ
	7	手話体験
	8	みんなで楽しい障がいスポーツ体験
	9	みんなでわくわく遊び体験
	10	インスタントシニア体験
東	11	もの当てクイズ
	12	福祉クイズ大会
	13	ボッチャ





今回のホームステイでは、昱綺の好きなかきわのグッズを買に行ったり、一緒に楽しむことができました。ホームステイ中の夕食で、漁師の祖父が獲ってきたアワビのバター焼きや日向で獲れたブリのしゃぶしゃぶを昱綺が「おいしい、おいしい」と喜んで食べてくれたことが嬉しかったです。昱綺が台湾に戻る日の朝、ホテル湾彩で昱綺と祖母の別れの涙を見て、短い時間の中で言葉が通じなくても、家族のように過ごせたことに感動しました。空港でのお別れは悲しさと寂しさで、たくさん涙が溢れました。この7日間という短い期間で、このような仲間になったことが、私はすごいと思います。

昱綺が日本や美浜を好きになってくれて「また絶対に来ます」と言ってくれたことがとても嬉しかったし、これからも「アヲ」を通じて仲良くしていきたいです。ホームステイでお世話になった皆さんに感謝しています。ありがとうございました。



美浜中学校 2年
山口 朋華 さん

ホームステイ生活で
家族のように

今回のホームステイを通して、
生徒たちは何を感じたのでしょうか。



石門実験国民中学校
2年 施 昱綺 さん

この美しい時間を永遠に

私にとってこの7日間のホームステイはとても感動し、収穫もいっぱいありました。その中で、一番印象に残っているのは、美浜中学校での一日です。昼休みに、生徒の皆さんと一緒にバレーボールをしました。皆さんの優しさは、この町の暖かさだと感じ、美浜は私の故郷の石門と同じように、人の優しさに満ち溢れた場所であることに気がきました。

朋華の家族は、私を家族のように接してくれて、祖母は優しく親切で、祖父は面白くて、言葉が違っても、表情や仕草で、お互いを感じることができました。別れる時に私は思わず涙を流し、将来また会えることを楽しみにしています。

今回の経験は私の視野を広げ、貴重な友情も得ることができました。この忘れられない思い出を作らせてくれた先生方、そして美浜の皆さんに感謝しています。私はこの友情を大切に、この美しい時間を永遠に心に留めておきます。



台湾新北市石門区 ホームステイ

1月21日から1月27日までの7日間、昭和63年から姉妹都市交流を続けている台湾新北市石門区から、石門実験国民中学校の一行が美浜町を訪れました。

今回訪れた一行は、昨年8月に美浜中学校の生徒が石門区を訪問した際、現地で一緒に過ごした生徒8人と、学校・行政関係者の計16人です。

約半年ぶりの再会を果たした生徒たちは、ホームステイや美浜中学校での交流授業等を通して、友好を深めました。

▷生徒たちの主な日程

1月21日 (火)	お出迎え（関西国際空港）
1月22日 (水)	テーマパーク体験（USJ）
1月23日 (木)	町役場歓迎会、美浜町エネルギー環境教育体験館きいばす、レインボーライン、レイクセンター
1月24日 (金)	美浜中学校での交流授業、ハマベリー ホームステイ 1日目
1月25日 (土)	京都観光 ホームステイ 2日目
1月26日 (日)	恐竜博物館、スキー・ジャム勝山 ホームステイ 3日目
1月27日 (月)	お見送り（関西国際空港）



↓夢の実現のため、日頃から鮮明なイメージを持つ大切さを語る角森氏



美浜出身の先輩に学ぶ シナプス先輩大学

1月25日に、第2回目となるシナプス先輩大学がなびあすで開催されました。

この企画は、子どもたちの可能性を広げ、地域愛を醸成することを目的とし、講師にメディカルトレーナーの角森脩平氏（東京都在住・佐田出身）を迎え開催されました。

角森氏は「夢や目標を言葉に出し続けることが大切。必ず現実になる」と中高生にエールを送っていました。

↓文化財（模擬品）の搬出を行う参加者



文化財を火災から守る 文化財火災防御訓練

1月26日に、文化財火災防御訓練が久昌寺（大藪）で行われました。

この訓練は、町民の文化財愛護に関する意識や防火意識の普及・高揚、消防職団員の技術向上等を目的として美浜消防署が行ったものです。

参加した大藪区自主防災会の会員や消防団員らは、119番通報や初期消火等について学んでいました。

↓上の句が読まれた瞬間に取り札を取り合う児童たち



研ぎ澄ました集中力で勝負を決める 第58回美浜町子ども会かるた大会

1月26日に、美浜町子ども会かるた大会がはあとびあで行われました。

大会には、町内の各地区から3人1組全11チームが参加し、リーグ戦と決勝トーナメントが行われました。

児童たちは、日頃の練習の成果を発揮し、読み手が読み上げた上の句に素早く反応して札を取り合っていました。（関連第21頁）大会結果は次のとおりです。

大会結果	
優勝	啓成A（中川百華、大塩ひかり、中川心美）
準優勝	東地区A（中野陽菜、伊藤碧人、下村南斗）
3位	啓成B（久保愛花、中村綾那、大塩奈々） 啓成D（上尾彩芽、戸田真白、久保陽愛）

↓息の合った演奏を披露する倅太鼓の児童・生徒たち



みなさんに幸せが訪れますように！ みはまこども倅太鼓 20周年記念コンサート

2月2日に、みはまこども倅太鼓20周年記念コンサートがなびあすで行われました。

この催しは、みはまこども倅太鼓の結成20周年を記念して開催されたもので、町内外のゲスト3組がコンサートに花を添えました。

コンサートの最後には、全演奏者による演奏が行われ、迫力のある響きに会場は盛り上がっていました。

↓記念給食を堪能する児童たち



北前船が運んだ文化を美食 日本遺産記念献立給食

2月13日に、日本遺産記念献立給食が町内の各小中学校で提供されました。

給食には、北前船が全国各地を周って運ばれた鯖や昆布、そうめん等を使った料理が並びました。

児童、生徒たちは給食に使われている食材が昔に、大海原を渡って伝えられたことに感心しながら、給食を頬張っていました。

↓運用開始式で挨拶をする河原市区長



迅速な防災活動を行うため 美浜消防団第3分団第2部 器具置場運用開始式

1月18日に、美浜消防団第3分団第2部の器具置場運用開始式が河原市農業研修センター駐車場で行われました。

これは、既存の器具置場が経年劣化により、第2部管轄の4区（河原市、木野、和田、佐柿）が協議し、施工、設置したものです。

式で、第3分団の小林分団長は「これまで以上に安全で迅速な消防活動を行うことができる」と話されていました。

↓勢いよく橋の欄干から飛び込む男衆



今年の大漁祈願・無病息災を祈って 日向水中綱引き

1月19日に、水中綱引きが日向湖と若狭湾を結ぶ運河で行われました。

色とりどりのハチマキに白いパンツの上半身裸姿で現れた男衆20人は、橋の欄干から勢いよく大綱の張られた運河へ飛び込みました。東西兩岸に分かれた男衆は、大きな掛け声とともに5分程で大綱を引きちぎり、観客から歓声が上がっていました。（関連第2頁）



まちウォッチング
atching